

令和3年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
瀬谷	1	旧上瀬谷通信施設への来場者の公共交通機関利用促進に向けた取組	1 三ツ境駅を園芸博の第2の拠点駅として、園芸博会場までの「新たなアクセス」の検討 (1) 「新たなアクセス」として自転車の活用とシャトルバスの導入に向けた検討 (2) 三ツ境駅と「新たなアクセス」との接続の円滑化・安全性向上に向けた検討 2 「新たなアクセス」の区内外でのネットワーク拡大展開に向けた検討	都市整備局	○
瀬谷	2	“農”を通じた「自立支援・就労支援」の取組	農福連携に向けた事業検討	健康福祉局	○
瀬谷	3	区設置の防災スピーカー年間保守管理	各区で運用している防災スピーカーについて、局の事業での保守管理の実施	総務局	—
瀬谷	4	国際園芸博覧会来場者等をおもてなしする瀬谷駅から会場に至る魅力空間の創出	1 相鉄瀬谷駅の改良 (1) 乗降客数増加に応じた駅舎及び自由通路の改良に係る検討・整備 (2) 園芸博の玄関口、象徴駅にふさわしい駅の魅力づくりに係る検討・整備 2 瀬谷駅北口駅前広場について、園芸博以降も地域住民等が継続的に活用できる魅力的な空間創出に係る検討・整備 3 相鉄瀬谷駅から園芸博会場までのアクセスルートの整備 (1) アクセスルートを通行する地域歩行者等と園芸博来場者との錯綜及び騒音等の防止に係る検討・整備 (2) アクセスルートのバリアフリー化、休憩スペース（ベンチ及び日除け等）の確保に係る検討・整備 4 海軍道路の桜並木の魅力を継承する景観形成に係る検討・整備	都市整備局	○
瀬谷	5	境川水系における総合的な治水対策の推進	1 河川改修に向けた調査、測量、工事、流域住民への周知、関連機関との連携 (1) 阿久和川：用地買収のための地権者調整 (2) 阿久和川：村下橋の先行整備 2 境川流域水害対策計画の早期策定に向けた関係機関との協議	道路局	○
瀬谷	6	瀬谷本郷公園の整備	公園東側の外周道路整備（付け替え）	環境創造局	○
瀬谷	7	二ツ橋北部地区のまちづくりの事業推進	1 第1期地区の事業推進にかかる事業（減価買収費、補償費、実施設計費、測量費、工事費等） 2 第2期以降地区の事業計画決定に向けた事業計画作成 3 172haのうち、長期事業未着手地区の取扱いの検討（整備計画（案）図書作成、基盤整備状況追加調査等）	都市整備局	○
瀬谷	8	花と緑あふれるまちの実現と環境の維持管理	1 国際園芸博覧会の機運醸成に向けた、花や緑に親しむ取組の充実や効果的な情報発信 2 緑化推進の継続的な活動支援（維持管理、花苗の配布、育苗支援等）	環境創造局 都市整備局	○
瀬谷	9	ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業及び災害時要援護者支援事業における名簿及び地図作成の集約化	1 名簿作成について、局による統一的な事務の整理、区で行うべき作業の精査、全区分の作業の集約・実施 2 対象者の位置を表示した地図の作成・提供	健康福祉局	○
瀬谷	10	都市計画道路横浜厚木線の事業化	路線測量、概略設計及び用地取得費	道路局	○
瀬谷	11	瀬谷土木事務所車庫・燃料庫アスベスト対策工事	1 実施設計 2 建築工事	市民局	—
瀬谷	12	瀬谷土木事務所トイレ手洗いの自動水栓化	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、トイレ手洗い5か所の自動水栓化	市民局	—

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局	瀬谷区		区政推進課	
		担当者名	竹本、村野	TEL	367-5631
		共通区	1区(旭区(2のみ))		
		継続年数	新規		
提案種別					
予算関連					
番号	項目				
1	旧上瀬谷通信施設への来場者の公共交通機関利用促進に向けた取組				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>2027年に旧上瀬谷通信施設(以下「計画地」)にて開催が予定されている国際園芸博覧会(以下「園芸博」)では、多くの来場者が来訪し、瀬谷駅から計画地まで新たな交通を整備することを考慮しても、約半数の交通手段は自家用車と予想されており、園芸博以降も、「観光・賑わいゾーン」等の整備により、引き続き年間1,500万人が訪れる郊外部の新たな活性化拠点の形成が計画されています。</p> <p>そこで、交通量増加による周辺道路への影響や乗降客が集中する瀬谷駅の負荷を軽減するために、園芸博以降を見据えた公共交通機関利用促進に向けた検討に取り組む必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路整備進捗率 48.0%(市内15位) 自転車・徒歩割合 38.3%(市内1位/平成20年東京都市圏パーソナリティ調査) 園芸博来場者(推計) 最大約20万人/日/半数近くの交通手段が自家用車 瀬谷駅乗降客数(令和元年) 平均約4万人/日 瀬谷駅乗降客数(園芸博開催時推計) 約9万人/日以上 					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()					
◇区民からの具体的な要望					
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度横浜市民意識調査 市民が周辺環境で最も重視する点は「通勤・交通などの便利さ」(54.9%)であるが、瀬谷区の満足度では22.4%と全市で最も低い。 令和元年度瀬谷区区民意識調査 区民の要望では、道路・歩道の整備状況の改善(2位)と公共交通機関(電車・バス)の便の充実(3位)が高い。 					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。					
<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン瀬谷区プラン <ul style="list-style-type: none"> 三ツ境駅やその周辺において、建築物の改築等を契機に、バリアフリー化を進める。 都市環境の方針として、「地球環境問題に対応した低炭素型まちづくり」を進める。 都市交通の方針として、「利用しやすい公共交通網の充実」、「自転車の利用しやすい環境づくり」及び「安心できる歩行環境づくり」を進める。 					
◇提案内容・概算額等					
<p>次の2項目について提案します(検討業務費 〇千円)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 三ツ境駅を園芸博の第2の拠点駅として、園芸博会場までの「新たなアクセス」の検討 <ol style="list-style-type: none"> 「新たなアクセス」として自転車の活用とシャトルバスの導入に向けた検討 三ツ境駅と「新たなアクセス」との接続の円滑化・安全性向上に向けた検討 「新たなアクセス」の区内外でのネットワーク拡大展開に向けた検討 					
◇参考：区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課	都市整備局国際園芸博覧会推進課				

◆局回答内容

都市整備局		国際園芸博覧会推進課	
担当者名	大石、春口	TEL	671-4627

対応の有無	対応する	
対応する場合	◇対応の内容	
	既存事業で対応します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	総務局	瀬谷区		総務課	
		担当者名	小山	TEL	367-5611
		共通区	1区(西区)		

継続年数	2年
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
3	区設置の防災スピーカー年間保守管理
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>年間保守管理及び管理に伴う費用の支出を区で実施している防災スピーカーがあります。一方、市内では防災スピーカーの設置・工事業が、災害情報の伝達手段の強化として進められています。そこで、当該浸水対応のスピーカーについても、既設置の津波対応のスピーカーや、今後整備が進められていくものと同様に、一元的な市としての対応をとるため、市の事業として展開することが必要であると考えます。</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()	
◇区民からの具体的な要望	
<p>【瀬谷区】瀬谷北部連合、本郷連合、瀬谷第二連合の3連合自治会長から、市長及び市会議長あてに「境川の川沿いへの防災無線の設置」にかかる陳情をいただいた。</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>【瀬谷区】(局予算)H28 局にて基本設計、H29 実施設計、H30 工事着手(個性ある区づくり推進費)H31.4月 区にて運用開始</p>	
◇提案内容・概算額等	
<p>・現在、区で実施している防災スピーカーの年間保守管理を、局の防災スピーカー設置事業に組み込み、局の予算から保守管理費を支出する。 ・防災スピーカー年間保守管理費 【瀬谷区】光熱費・通信費：■千円 保守修繕委託費：■千円 計■千円/年 【西区】光熱費・通信費：■千円 保守修繕委託費：■千円 計■千円/年</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
<p>現行の体制で対応</p>	
◇所管局	
所管局課	総務局緊急対策課

◆局回答内容

総務局		緊急対策課	
担当者名	有賀、齊藤	TEL	671-3458

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	<p>瀬谷区に設置した防災用屋外スピーカーは、災害対策のため瀬谷区境川流域に設置していることから、引き続きその運用・維持管理の対応をお願いします。 また、共通区に関しても同様な考え方により、その運用・維持管理の対応をお願いします。</p>
	◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局	瀬谷区		区政推進課	
		担当者名	竹本・村野	TEL	367-5631
		共通区			

継続年数	2年
------	----

提案種別	
予算関連	

番号	項目
4	国際園芸博覧会来場者等をおもてなしする瀬谷駅から会場に至る魅力空間の創出

◇地域の課題、基礎データ等

- 相鉄瀬谷駅の課題
 - 増加する乗降客数
現状で平均約4万人/日の乗降客が、園芸博開催時に約8万人/日以上に増加する見込で、乗降客増加に伴う瀬谷駅の負担を軽減する必要があります。
 - 園芸博以降の駅の位置づけの変化
地域の生活に密着してきた瀬谷駅は、園芸博以降、世界中からの多くの来訪者が利用する園芸博の象徴駅へと位置づけが変化することを想定する必要があります。
- 瀬谷駅北口広場の位置づけの変化
現状の瀬谷駅北口広場は地域の生活に密着した敷地であるが、園芸博以降、園芸博の玄関口へと位置づけが変化することを想定する必要があります。
- 相鉄瀬谷駅から園芸博会場までのアクセスルート等
 - 地域への影響
歩行アクセスルート沿道には民家、店舗が存在し、地域歩行者と園芸博来場者との錯綜、沿道店舗等を出入する車両と園芸博来場者との錯綜、さらに、人通りが多くなることによる騒音が懸念されます。
 - 園芸博来場者への影響
園芸博会場までの道のり(約1.6km)を、誰もが快適かつ安全に通行できる歩行空間を確保する必要があります。
- 海軍道路の桜並木
老朽化が進行し維持が困難になってきている海軍道路の桜並木について、地域等への配慮が必要です。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他()

◇区民からの具体的な要望

- 平成29年度瀬谷区区政意識調査
「瀬谷区を象徴するもの」として1位「緑の多い環境」に次いで、「桜並木」が2位。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

- 瀬谷駅北口駅前広場の環境整備等
区は、令和2年度区提案反映制度の提案項目に対する対応として、「令和2年度 国際園芸博覧会の開催に伴う相鉄線瀬谷駅北口周辺環境整備検討業務」にて検討中。検討結果は令和2年度内に開始する地域との意見交換の基礎資料として活用する予定で、整備に向けた検討の深度化を進める。
- 桜並木に係る検討
令和2年度に提案反映制度の提案項目に対する対応として都市整備局が「海軍道路桜プロジェクト」を立ち上げ検討中。令和2年度中に地域との意見交換を実施し深度化を進める。区は当プロジェクトに協力。

◇提案内容・概算額等

国際園芸博覧会(以下「園芸博」という。)の開催を契機に、園芸博の玄関口である瀬谷駅周辺から会場までのエリア全体で、来場者等をおもてなしする魅力的な空間づくりに取り組む必要があるから、次の事項を提案します。

- 相鉄瀬谷駅の改良
 - 乗降客増加に応じた駅舎及び自由通路の改良に係る検討・整備
 - 園芸博の玄関口、象徴駅にふさわしい駅の魅力づくりに係る検討・整備
- 瀬谷駅北口広場の環境整備
園芸博以降も地域住民等が継続的に活用できる魅力的な空間創出に係る検討・整備
- 相鉄瀬谷駅から園芸博会場までのアクセスルートの整備
 - 地域に着目した提案
アクセスルートを通行する地域歩行者等と園芸博来場者との錯綜及び騒音等の防止に係る検討・整備
 - 園芸博来場者に着目した提案
アクセスルートのバリアフリー化、休憩スペース(ベンチ及び日除け等)の確保に係る検討・整備
- 海軍道路の桜並木の魅力継承 【全体整備計画後調整】
桜並木の魅力を継承する景観形成に係る検討・整備

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局	都市整備局国際園芸博覧会推進課、上瀬谷整備推進課、都市デザイン室
-----	----------------------------------

◆局回答内容

都市整備局		国際園芸博覧会推進課 上瀬谷整備推進課 都市デザイン室	
担当者名	岩ヶ谷(国) 松島(上) 山田(都)	TEL	671-4627(国) 671-2061(上) 671-2023(都)

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>既存事業で対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容3「相鉄瀬谷駅から園芸博会場までのアクセスルートの整備」について、園芸博来場者の輸送アクセス計画の検討を進める中で、瀬谷駅から博覧会会場へのアクセスに関する検討を行い、関係者への情報提供を行います。 ・提案内容2「瀬谷駅北口広場の環境整備」及び4「海軍道路の桜並木の魅力継承」について、瀬谷駅から会場までの魅力づくりも含め、引き続き区や関係局としっかりと連携しながら、さくらプロジェクトとともに検討を進めていきます。 ・なお、提案内容1「相鉄瀬谷駅の改良」については、輸送アクセス計画の検討による来場者予測に基づき、園芸博時における瀬谷駅の乗降客増加に応じた対応方法について相模鉄道㈱と調整、検討を進めていきます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	環境創造局	瀬谷区		区政推進課	
		担当者名	竹本・村野	TEL	367-5631
		共通区			
			継続年数	7年以上	

提案種別	
予算関連	
番号	項目
6	瀬谷本郷公園の整備
◇地域の課題、基礎データ等	
<ul style="list-style-type: none"> 瀬谷本郷公園（面積5.8ha）は、瀬谷区においてスポーツができる地区公園を整備するため、平成10年11月に都市計画決定された公園です。 公園用地の北側区域（4.0ha）については、野球場、テニスコート、駐車場が整備され、平成14年5月に供用開始されています。 公園用地の南側区域（1.8ha）については、長年にわたり未整備区域となっていました。令和元年度の整備により、令和2年4月に公園全域で供用開始となりました。 外周道路については暫定的な整備状態となっていますが、区民が安全快適に通行できるように整備を完了させる必要があります。 	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（整備に向けた地元説明会）	
◇区民からの具体的な要望	
公園利用者が安全に公園を利用できるよう、外周道路の車道、歩道の整備要望があります。	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
「都市計画マスタープラン瀬谷区プラン」では、多様性のある公園づくりとして「公園の改修にあわせて、高齢者や子育て世代の交流の場などとして、地域の特性やニーズに応じた改善を進めていきます。」としています。	
◇提案内容・概算額等	
公園東側の外周道路整備（付け替え）	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	環境創造局公園緑地整備課

◆局回答内容

環境創造局		公園緑地整備課	
担当者名	加藤	TEL	671-2653

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 外周道路整備のため調査、地元調整、整備
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	都市整備局	瀬谷区		区政推進課		
		担当者名	竹本・村野	TEL	367-5631	
		共通区				
		継続年数	7年以上			
提案種別						
予算関連						
番号	項目					
7	二ツ橋北部地区のまちづくりの事業推進					
◇地域の課題、基礎データ等						
<ul style="list-style-type: none"> 二ツ橋北部地区については、昭和33年の都市計画決定以降、40年代からスプロールによる急速な市街化が進行したため、全体の事業実施は非常に困難な状況といえます。 地区内の都市計画道路三ツ境下草柳線については瀬谷駅北地区及び三ツ境駅周辺で一部整備済となっていますが、C地区（相沢一・二丁目、二ツ橋町部分）は未整備区間となっています。この区間は現道の県道瀬谷柏尾線を使用し、相鉄線を踏切で横断するため、周辺道路を含めて慢性的な渋滞が生じています。 C地区内の三ツ境下草柳線及び瀬谷地内線を整備することにより、瀬谷駅と三ツ境駅を踏切を横断することなく結ぶことが可能となること、瀬谷区北部との道路ネットワークが強化されることから、早期整備が必要とされています。 <p>【基礎データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 二ツ橋北部地区土地区画整理事業 約171.6ha 昭和33年3月13日都市計画決定 ◆ 瀬谷駅北地区土地区画整理事業 約8.9ha 平成12年3月26日換地処分 ◆ 3・4・14三ツ境下草柳線、3・5・6瀬谷地内線 平成26年12月5日都市計画変更 ◆ 二ツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区第1期地区事業計画 決定 平成27年8月25日 						
◇地域ニーズ等の収集手段						
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ）						
◇区民からの具体的な要望						
<p>地区内の地権者から、次の要望があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1期地区 地権者説明会にて事業の早期完了 第2期以降地区 地区ブロック別懇談会にて事業の早期実現 						
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。						
<ul style="list-style-type: none"> 「都市計画マスタープラン瀬谷区プラン」では、三ツ境下草柳線を相鉄線北側の駅周辺へのアクセスを高める道路、瀬谷地内線を区北部の循環ルートを形成する道路として位置づけています。また、三ツ境下草柳線周辺については、都市計画道路の整備と背後の住宅地の環境に配慮した沿道のまちづくりを進めることとしています。 二ツ橋北部地区の事業手法や段階的整備等について、平成16～19年度において都市整備局と検討調査を行いました。 二ツ橋北部地区のうちC地区については、平成22年度にC地区の地権者に対する土地利用意向調査、23年度に沿道まちづくり説明会、24年から地権者の意向を把握するためのブロック別懇談会を区局連携で実施しました。 						
◇提案内容・概算額等						
<ul style="list-style-type: none"> 第1期地区の事業推進にかかる事業費（減価買収費、補償費、実施設計費、測量費、工事費等） 第2期以降地区の事業計画決定に向けた事業計画書作成費 172haのうち、長期事業未着手地区の取扱いの検討〔整備計画（案）図書作成、基盤整備状況追加調査等〕 						
◇参考：区執行体制上の課題						
現行の体制で対応						
◇所管局						
所管局課	都市整備局二ツ橋北部土地区画整理事務所、市街地整備推進課					

◆局回答内容

都市整備局		二ツ橋北部土地区画整理事務所 市街地整備推進課	
担当者名	鈴木・壬生（二） 内山・矢澤（市）	TEL	363-3110（二） 671-2678（市）

対応の有無	対応する	
対応する場合	◇対応の内容 第1期地区の事業推進に係る事業費（換地設計費、減価買収費、補償費、工事費等）及び第2期地区の事業計画決定に向けた事業計画書案作成費等	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管 局名	健康福祉局	瀬谷区		福祉保健課 高齢・障害支援課	
		担当者名	古角(福祉保健課) 長谷川(高齢・障害支援課)	TEL	367-5702
		共通区	12区(神奈川区、西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、金沢区、港北区、緑区、青葉区、(ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業のみ)旭区、栄区)		

継続年数	新規
------	----

提案種別	
予算・制度関連	
番号	項目
9	ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業及び災害時要援護者支援事業における名簿及び地図作成の集約化
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業の名簿については健康福祉局地域支援課から配信されるExcelのマスタデータを基に各区福祉保健課が作成し、災害時要援護者名簿については局福祉保健課から配信されるExcelのマスタデータを基に各区高齢・障害支援課が作成しています。</p> <p>各区2課において、それぞれ数千から1万を超える対象者についての必要な入力・確認が手作業で行われており、高齢化等により他の業務も増えている中、年々増加する膨大なデータを取り扱う当該業務に相当の時間を要しています。</p> <p>また、名簿作成のノウハウ蓄積の必要から、現在、各区では会計年度任用職員(日額職)など限られた職員が作業を行っており、わずかな誤入力、確認漏れ等により、複数区において事務処理ミスが発生しています。</p> <p>さらに、区によっては、名簿だけではなく対象者の位置を示した地図の提供が求められていますが、区での対応は困難な状況です。</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()	
◇区民からの具体的な要望	
<p>自治会町内会及び民生委員が対象者宅を訪問しても転居や死亡等があるため、できるだけ新しい情報の名簿を提供してほしいという要望があります。</p> <p>また、対象者宅を訪問する際、場所の特定が困難な場合があるため、提供される名簿の区域(自治会町内会区域又は民生委員の担当エリア)に分割し、対象者の位置を表示した地図を導入・提供してほしいという要望があります。</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>名簿作成については区・課ごとに細かい作成方法を定め、独自にノウハウを蓄積しながら主に会計年度任用職員(日額職)等により作業を行っており、名簿作成までに相当の時間を要しています。</p> <p>また、地図については、一部の区で作成しているものの、多くの区では技術的な問題や業務量に対応できないため、地域の要望に応えられていません。</p>	
◇提案内容・概算額等	
<p>ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業及び災害時要援護者支援事業の名簿作成について効率化の観点から健康福祉局で統一的な事務の整理、区で行うべき作業の精査を行い、一連の作業(マスタデータのメンテナンス、対象者の抽出、ダイレクトメールの発送、対象者からの回答の受理及び書類整理、同意内容等の入力、名簿作成等)を全区分集約して行うとともに、新たに対象者の位置を表示した地図を作成・提供することを提案します。</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	健康福祉局地域支援課、福祉保健課

◆局回答内容

健康福祉局		地域支援課 福祉保健課	
担当者名	岩崎(地域支援課) 田邊(福祉保健課)	TEL	671-4046(地) 671-4056(福)

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>災害時要援護者支援事業については、令和2年6月より行っている高齢・障害係長プロジェクトで検討した事務の見直しとともに、事業自体の在り方について議論したうえで、システム改修等による一連の事務改善について検討していきます。</p> <p>ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業についても、事務負担の軽減や活用方法を踏まえたシステム改修について、災害時要援護者名簿管理システムの改修に合わせて検討していきます。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局	瀬谷区		土木事務所	
		担当者名	山口	TEL	364-1105
		共通区			

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算関連	
番号	項目
10	都市計画道路横浜厚木線の事業化
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>都市計画道路横浜厚木線は区内を東西に走る主要道路ですが、区内全線にわたり片側1車線の道路となっています。特に相鉄三ツ境駅南口付近は、路線バス等の通行量が多いにもかかわらず歩道が狭く、歩行者や自転車等の利用者の安全が確保できない状況となっています。また、県道瀬谷柏尾や主要地方道丸子中山茅ヶ崎との交差部分についても歩道や右折車線の無い箇所があり、通行車両や歩行者の安全確保が課題となっています。</p> <p>旧上瀬谷通信施設跡地の利用計画や2027年の国際園芸博覧会等を見据えると、これらの箇所がボトルネックとなって渋滞や事故を誘発することも考えられるため、旭区境から主要地方道丸子中山茅ヶ崎と交差する南台交差点までの区間の早急な拡幅整備が必要です。</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()	
◇区民からの具体的な要望	
<p>市民団体から、県道瀬谷柏尾や主要地方道丸子中山茅ヶ崎との交差部分の拡幅や歩道設置について要望を受けています。また、横浜建設業協会瀬谷区会からは、防災の観点から当該区間の拡幅整備が要望されています。</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>緊急輸送路、災害時体制の検討により主要地方道横浜厚木の重要性について再確認しています。(令和2年度) 【瀬谷区運営方針】 「安全・安心のまちづくり」 【道路局運営方針】 「市民生活の安全・安心の確保」、「横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備」</p>	
◇提案内容・概算額等	
<p>路線測量、概略設計及び用地取得費</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
<p>現行の体制で対応</p>	
◇所管局	
所管局課	道路局事業推進課、企画課

◆局回答内容

道路局		事業推進課、企画課	
担当者名	坂入、酒井(事業) 周治、原(企画)	TEL	671-3533(事業) 671-2777(企画)

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>平成28年3月に公表した「都市計画道路の優先整備路線」において、横浜厚木線の相鉄三ツ境駅付近から丸子中山茅ヶ崎線までの区間は優先的に事業着手する路線としており、三ツ境地区については、先行取得路線として位置づけています。他の事業中路線の進捗状況等を見ながら、効率的、効果的な整備を検討し、順次事業化を図ってまいります。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	市民局	瀬谷区		土木事務所	
		担当者名	富田	TEL	364-1105
		共通区			

継続年数	2年
------	----

提案種別	
予算関連	

番号	項目
11	瀬谷土木事務所車庫・燃料庫アスベスト対策工事

◇地域の課題、基礎データ等

・当事務所敷地内の車庫及び燃料庫の屋根並びに外壁には、アスベストを含む建材が使用されていますが、経年劣化により、特に屋根の風化が著しく、一部の崩落が始まっています。
 ・震災が発生した場合には屋根が崩落し、格納されている車両や機械工具及び燃料がアスベストを含むがれきに覆われる恐れがあります。
 ・がれきを撤去し、車両、機械工具又は燃料を取り出す作業は、レベル3のアスベスト作業となることから、特別教育を受けた職員の配置と作業にあたる職員全員分の保護具が必要になります。しかし、現状ではそのいずれも用意されていないため自力での作業が出来ず、災害対応能力が大きく損なわれることとなります。
 ・燃料庫は、火災の際には屋根が吹き飛んで被害を防ぐ防爆構造になっているため、万一屋根が吹き飛んだ場合にはアスベストを含む建材が破損飛散することになり、近隣居住者、来庁者、職員に対する健康上のリスクが発生します。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（瀬谷土木事務所アスベスト調査）

◇区民からの具体的な要望

防災機能喪失や健康リスクにかかる区民からの具体的な要望が出る前に対処したい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

平成29年度に下調作成。営繕要求を出していますが、実現していません。
 【瀬谷区運営方針】 安全・安心のまちづくり

◇提案内容・概算額等

実施設計及び工事費 ■■■千円

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	市民局地域施設課
------	----------

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	近藤	TEL	671-2086

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	予算要求しましたが、昨今の厳しい財政状況の中、予算化することができませんでした。
	◇対応する場合の課題
	周囲にアスベストが飛散しないよう、対策工事を実施する必要があります。

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	市民局	瀬谷区		土木事務所	
		担当者名	富田	TEL	364-1105
		共通区			

継続年数	新規
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
12	瀬谷土木事務所トイレ手洗いの自動水栓化
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>瀬谷土木事務所の庁舎に設置されたトイレの手洗いは、全て手動水栓のみとなっています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止には、手洗いの徹底が必要不可欠ですが、自らの手で栓を開閉する現状の水栓では効果的な手洗いが不可能です。そこで、水栓部分を自動化し、感染拡大防止力の向上を図ります。</p> <p>水栓の数：1階 男性用 1か所、女性用 2か所 2階 男性用 2か所 合計5か所</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（新型コロナウイルス感染症防止対策の一環）	
◇区民からの具体的な要望	
<p>土木事務所には、日々多くの業者が各種申請や確認、調整のため来所しています。また、打合せのために来所する公園愛護会・水辺愛護会等の活動団体、陳情のために来所する自治会・町内会長など、一般市民の方々も訪れます。これらの方々や、職員を新型コロナウイルス感染症の脅威から守るとともに、拡大防止を図る観点からトイレ手洗いの自動水栓化を実施したいと考えます。</p>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>区政運営方針：安全・安心のまちづくり 食の安全・感染症対策</p>	
◇提案内容・概算額等	
<p>手洗い5か所 × ■■■千円/か所 = ■■■千円</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
<p>現行の体制で対応</p>	
◇所管局	
所管局課	市民局地域施設課

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	近藤	TEL	671-2086

対応の有無	対応しない	
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	区予算での対応をお願いします。	
	◇対応する場合の課題	